



# 駆除か保護か？

～身近な野生動物から私たちの環境といのちを考える～

意外と知らない身近な野生動物を知ること、私たちを取り巻く環境が見えてきます。所有者がいない野生動物は、北海道開拓の歴史のなかで翻弄されてきました。フィールドで活動している専門家から主に札幌市内で生息する野生動物と人間の歴史や現状を聞き「今、そこにいる野生動物たちの実態」を知ることから、豊かな北海道の自然環境やそこに生きる「いのち」について考えてみませんか？

●10月7日(金)開講 月1回金曜 19:00～21:00 全6回

●会場 さっぽろ自由学校「遊」

●受講料 一般5,000円 会員\*・学生2,500円(単発 一般1,000円 会員\*・学生500円)

\*この講座の会員料金は、さっぽろ自由学校「遊」と野生動物リハビリテーター協会の会員に適用されます。

●お申込・お問合せ先 TEL.011-252-6752 syu@sapporoyu.org さっぽろ自由学校「遊」

10月7日(金)

## 札幌市内の野生動物事情

～ある日お庭にシカがいたら！どうしますか？～

●齊藤 聡(さいとうさとし)

石山通り動物病院院長・生物医学研究所所長

昔からこんなに身近に、野生動物を見かけましたか？変化している市内の環境指標生物。原野のエゾシカと都市出没のエゾシカは同じなのか？食べてみませんか？エゾシカ肉！

11月4日(金)

## なぜエゾシカの個体数調整が必要なのか

●鈴木 正嗣(すずき まさつぐ)

岐阜大学応用生物科学部獣医学講座  
野生動物医学研究室教授

「自然を守るためにもエゾシカを駆除しなければならない理由」をお話します。エゾシカとの共存を従来型の野生動物保護の感覚とは異なる「競争的共存」という視点から捉えます。

12月2日(金)

## カラスは野鳥か害鳥か？

～カラスの本当の姿を知ろう～

●中村 眞樹子(なかむら まきこ)

札幌カラス研究会代表

誤解だらけのカラスの生態。本当の生態を理解すれば害鳥だなんて思わなくなるはず。一体カラスはどんな生活をしているのでしょうか？動画や画像で紹介します。

1月20日(金)

## 外来生物の影響と対策

～アライグマは何故いてはいけないのか？～

●池田 遼(いけだ とおる)

北海道大学大学院文学研究科教授

外来生物は世界各地で在来生態系に多大な影響を与えており、対策が進められています。海外の例を参考に、北海道のアライグマ問題にどう対応すべきかを考えてみましょう。

2月17日(金)

## アイヌの動物観

～先住民族からみた生物多様性～

●秋辺 日出男(あきべ ひでお)

阿寒アイヌ工芸協会専務理事、WIN-AINU 事務局長

先住民族が培ってきた伝統的な価値観の中には、人間界と自然界との共存のための知恵が詰まっています。生物多様性の保全に注目が集まるいま、改めてアイヌ民族のものの見方を学びましょう。

3月16日(金)

## ヒグマの繁殖を中心とした不思議な生態

～ヒグマとの共存の道～

●金川 弘司(かねがわ ひろし)

ヒグマの会会長、北大名誉教授

何億年と云う悠久な地球の歴史の中で、北海道の自然環境に適応してきた森の王者、ヒグマから学ぶことは沢山あります。そして、今後は、ヒグマとどう関わって行くべきかを考えてみましょう。

主催 野生動物リハビリテーター協会 NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」

公益法人秋山記念生命科学振興財団 2011 年度社会貢献活動助成事業